



心の糧

9月14日、母校である八代中学校の秋季運動会を見させていただきました。この日の天気は、時折、曇り空になるものの、気温が高いうえに無風。決して良いコンディションではありませんでしたが、その悪条件を跳ね返すほど、八中生は躍動していました。私が特に印象に残ったのは、最終種目「てやてやウェーブ」です。生徒たちの踊る姿から感じた力強さや勢いは、観客を奮い立たせるものでした。おそらく、練習期間中に体調を崩したり、ブロックでの話合いがうまくまとまらず悩んだりした生徒もいたことでしょう。そのような状況の中でも、生徒一人一人が困難に挑み、何かをやり遂げたという達成感が、あの「てやてやウェーブ」につながったのではないかと思います。その八中生の姿に清々しさを感じながら、ふと入場口付近に目をやると、あることに気付きました。それは、野球部が使っていたグラウンドの三塁側ベンチ横にあった大きな木がなくなっていたのです。そして真っ先に思い出したのは、数十年前の夏、あの木が私のピンチを何度も救ってくれたことでした。

私は中学生のとき、野球部に所属していましたが、夏休みの練習は、まさに地獄と言っても過言ではないくらい辛いものでした。まず、8時から学校近くの山道(1周約4km)2週のランニング。諸事情により、なぜか3周のときもありました。その後は、グラウンドの外回りを20周ランニング、続いて内回りのランニングやダッシュ。そのころになるとあまりの辛さで動けなくなり見学者(見学者は前出のなくなった木の下で休憩)が続出。さらに、午後からはノックとスバッティングで、終了時刻はおよそ15時頃。休みは、お盆の3日間ぐらいたったと記憶しています。今のような暑さとは違いますが、水分は摂らず休憩もごく僅かな時間しかない練習だったので、心の底から嫌でした。しかし、不思議なもので、当時同じ野球部だった同級生に出会うと、必ず夏練習の話で盛り上がります。しかも大笑いしながらです。なぜ笑って話せるのか誰もその理由を真剣に考えたり、話したりはしませんが、部活動を通して得た「あれだけの練習に耐えられたのだから、これぐらいのことはどうにかなる」という感覚が、大人になった今でも、困難に立ち向かうための「心の糧」になっていることは間違いありません。

子どもたちは、これからの人生において必ず乗り越えなければならない壁にぶつかりますが、その壁を乗り越えるために必要な「心の糧」は、学校生活によって培われるものだと考えます。この忙しい2学期がチャンスです。学校、家庭、地域が一体となって、あえて負荷の高い教育活動を展開し、双岩の子どもたちを心身ともにたくましく成長させていきましょう。御協力のほど、よろしく願いたします。

(文責:後藤 敏夫)

10月行事予定

★ ICT支援員来校日

日	曜	行 事	給食
1	火	南予用水見学(野村ダム)3・4年	○
2	水	市教委学校訪問(午前中) PTA大学④	○
3	木	陸上選手を励ます会 教育支援室学校訪問	○ ★
4	金		○
5	土		—
6	日		—
7	月		○
8	火	市陸上運動記録会(平野運動公園)	○
9	水	記録会予備日	○
10	木		○
11	金	地域のお年寄りとの交流(3・4年)	○
12	土	双岩保育所運動会 ※雨天時は本校体育館	—
13	日		—
14	月	スポーツの日	—
15	火	食育TT⑤(1・2年)	○
16	水	原子力防災訓練 11:00 ALT訪問 (平常校時)	○
17	木	就学時健康診断 13:00 ※1年 12:45 下校	○
18	金	職員会 校内研修 (水曜校時) ★	○
19	土	地方祭	—
20	日		—
21	月	チャレンジテスト(3・4年)~23日 クラブ⑥ 川上小との交流(3・4年) 午前中	○
22	火	読み聞かせ 交流予備日	○
23	水	チャレンジテスト(6年)~25日 校内研修 双岩地区協議会 18:00	○
24	木	人権の花をいただく会(6年) 15:45	○
25	金	学団遠足(雨天実施) ※詳細は各学年から	弁当他
26	土	県PTA大会(八幡浜市)	—
27	日		—
28	月	午前中授業 12:45 集団下校	○
29	火		○
30	水	校内研修 ★	○
31	木	人権参観日・講演会	○

※8日・9日
選手は
弁当です。

※市教育
研究会
のため

【11月の主な行事等】

- ・ 科学の祭典(9日) ・ 県陸上運動記録会(11日)
- ・ 市内音楽発表会(22日)
- ・ 創立150周年記念式典(24日) ・ 繰替休業(25日)
- ・ 市教育美術展(29日~12/8日) ・ 学芸会(30日)

※ 現段階での予定ですので変更の可能性があります。御了承ください。